

校長室だより
NO. 48
平成31年1月28日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高須 亮平

「こども音楽コンクール」で音楽部の重唱が「日本一」に

CBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会・重唱部門で最優秀賞を獲得した本校音楽部の4人の重唱の演奏が、全国コンクールに進出し、こども音楽コンクール全国コンクールで日本一の文部科学大臣賞に輝きました。昨年度、このコンクールの合唱部門で全国3位でしたが、今年度は、重唱部門でその上を行く最高賞をいただきました。



文部科学大臣賞受賞の歓喜

子ども音楽コンクール 小学校・重唱部門
文部科学大臣賞 音楽部 (曲:「台風は考える」/四重唱)
都築 宥 (6年4組) 島 遥日 (6年1組)
生熊 冬依 (6年4組) 竹田 志優 (5年4組)

1月20日(日)、東京・赤坂のTBS放送センター内で、平成30年度こども音楽コンクール文部科学大臣賞選考会が開催されました。そこで、コンクールの全12部門で、「日本一」にあたる「文部科学大臣賞」の受賞校が選ばれました。その中で、小学校・重唱部門の日本一に本校の音楽部4人の重唱が選ばれました。そして、本校に連絡が入ったのでした。

音楽部は、これまでも全国や東海北陸といったコンクールに出場していますので、何か簡単そうに思えますが、全くそうではありません。中部日本大会で最優秀賞をとるのもたいへんなことですし、その上の全国一ということは相当な難しさです。現に、全国コンクールに中部日本から小・中学校でそれぞれ6部門に12校が出場しましたが、1番は本校のみでした。また、岡崎市内の小学校では過去10年ほどを調べましたが、受賞校はありませんでした。そんな意味からも、このことはすばらしい快挙で、

本校としても岡崎市としても長い歴史の中での偉業としての1ページに刻まれました。

今年度は、合唱とともに重唱もがんばってきた4人の子どもたちですし、また、それを指導してきた音楽部の先生たちです。その努力の成果が大きな結果となりました。このことは、子どもたちの演奏を通して、その音楽指導の高さが全国的に認められたということでもあります。そもそも、この「こども音楽コンクール」は、

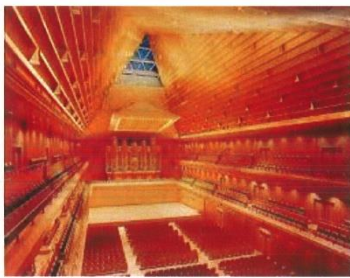


中部日本決勝大会での演奏

「音楽を身近に楽しむ」というコンセプトのもと、1953（昭和28）年から毎年開催されている小学校・中学校を対象にした音楽コンクールということです。小学校の音楽のコンクールでは、NHK全国学校音楽コンクールと並び、歴史のある由緒正しいものです。両者のコンクールの特徴の違いは、NHKコンクールは合唱に特化し、小・中・高等学校までを対象としているのに対して、こども音楽コンクールは、合唱だけでなく重唱や合奏・重奏も含まれているところです。そのため、こども音楽コンクールは、音楽教育として幅広い視野から子どもを育てていこうとするコンクールです。今年度は全国で1,532校、およそ4,200人が参加したそうです。

選考会には、それぞれの地区大会、ブロック大会を勝ち抜いた全国7ブロックの代表校が収録音源で出場し、その審査の結果、小・中学校それぞれ6つの部門（重唱・合唱・重奏・合奏第1・合奏第2・管楽合奏）で「日本一」が選出されました。本校は、中部日本決勝大会で録音した演奏の音源での参加となりました。その大会での本校の演奏は、顧問の吉田帆波先生が言うには、それまで練習してきた中で、最高の出来映えであったということでした。確かに、そのときの演奏では多くの観客の人たちを感動の渦に巻き込んでいたことは事実ですし、そのときの4人が堂々と自信を持って歌う姿がとても印象的でした。そのため、全国コンクールでの審査結果もうまくいくのではないかと期待していました。そして、その期待通りの文部科学大臣賞の日本一の賞に輝くことになりました。

なお、昨年11月10日（土）のCBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会の4人の重唱は、YouTubeで「20181110 11【全国1位 文部科学大臣賞受賞】愛知県岡崎市立梅園小学校【重唱部門 最優秀賞】」と検索すれば、歌っている動画とともに歌声を視聴することができます。なかなかすばらしい演奏をしていますので、是非ともご覧ください。



東京オペラシティコンサートホール

2月23日（土）、東京オペラシティコンサートホール（東京・新宿）で行われる「文部科学大臣賞授賞式・記念演奏会」で、この4人に文部科学大臣賞の賞状が授与される予定になっています。そして、受賞曲の「台風は考える」（四重唱）を演奏することも決まっています。左がその記念演奏会が行われる会場です。

3階席まであり1,600余もの人を収容できるパイプオルガン付きの大ホールです。きっとこの会場でもすばらしい演奏で、多くの人たちを感動させてくれることでしょう。そのためにも、これから練習を再開し、少しずつ仕上げていかないとはいけませんね。私も、この4人の日本一になった重唱のステージを観に行き、応援したいと考えています。また1つ、大きな大きな楽しみが増えました。

年度が終わろうとしているこの時期、本校にこのようなすばらしい知らせが舞い込んできました。子どもたち、また、それを指導する先生たちのがんばりを称えとともに、目標を持って一步一步努力を積み重ねていくことの大切さをつくづく感じます。まさに今年度のテーマである「私のチャレンジ 夢への一歩」の通りです。